

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
柔道整復実技13							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・夜間部	3年	1・2期	木下 美聡		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	柔道整復実技			実技	1	20	
科目概要							
柔道整復師として身につけておくべき上肢脱臼の整復法および、包帯固定の実技を行う。特に肩関節脱臼、肩鎖関節脱臼、肘関節脱臼および、手指関節脱臼の疾患を取り上げ、発展的な対応力が身につけられる授業である。							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	総合的に上肢疾患(肩関節、肘関節、手指関節の疾患)の正しい治療ができるようになるために、様々な検査法を駆使し、高度な臨床的判断能力を身につける。						
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1. 肩関節、肘関節、手指関節疾患に対する最適な検査ができるようになる。 2. 肩関節、肘関節、手指関節疾患に対する的確な視診、触診ができるようになる。 3. 肩関節、肘関節、手指関節疾患に対する最適な治療法を選択できるようになる。					
履修に必要な予備知識や技能							
上肢(筋、靭帯、腱、結合組織)の解剖学、生理学の基本的な知識を確認しておく、実習時に非常に役に立ちますので復習をしておいてください。							
教科書・参考書							
配布プリントを中心に講義は実施致しますが、参考資料として「柔道整復学・理論編」「柔道整復学・実技編」なども使用します。							
受講上の注意							
指輪、ネックレス、イヤリングなどの実習の際に妨げるになる可能性がある物は、身に着けないようにしてください。手指の爪は切り、整えて参加してください。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (クイズ形式)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)		50		50			100
実技試験実施要項							
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	ガイダンス、肩鎖関節上方脱臼整復・固定法演習①			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具		
第2回	肩鎖関節上方脱臼整復・固定法演習②			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具		
第3回	肩鎖関節の疾患①			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具		
第4回	肩関節前方鳥口下脱臼整復・固定法演習①			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具		
第5回	肩関節前方鳥口下脱臼整復・固定法演習②			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具		
第6回	肩関節前方鳥口下脱臼整復・固定法演習確認テスト			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具		
第7回	肘関節後方脱臼整復・固定法演習①			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具		
第8回	肘関節後方脱臼整復・固定法演習②			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具		
第9回	肘関節後方脱臼整復・固定法演習確認テスト			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具		
第10回	総合確認			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具		
第11回	肘内障の診察及び検査①			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具		
第12回	肘内障の診察及び検査②			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具		
第13回	肘内障の診察及び検査確認テスト			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具		
第14回	手第2指PIP関節背側脱臼①			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具		
第15回	手第2指PIP関節背側脱臼②			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具		
第16回	手第2指PIP関節背側脱臼確認テスト			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具		
第17回	総合確認			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具		
第18回	定期試験①				白衣、サンダル、筆記用具		
第19回	定期試験②				白衣、サンダル、筆記用具		
第20回	定期試験解説・復習				白衣、サンダル、筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
約15年間、病院、接骨院にて勤務。その後、約10年間の開業経験。合計25年間で得られた経験をもとに、現場をイメージできる講義を展開する。							
メールアドレス							
kinoshita@nihonisen.ac.jp							